

# 院内感染対策ニュース

第64号 平成30年12月19日  
院内感染対策委員会

## ノロウイルスが増えてくる季節になりました

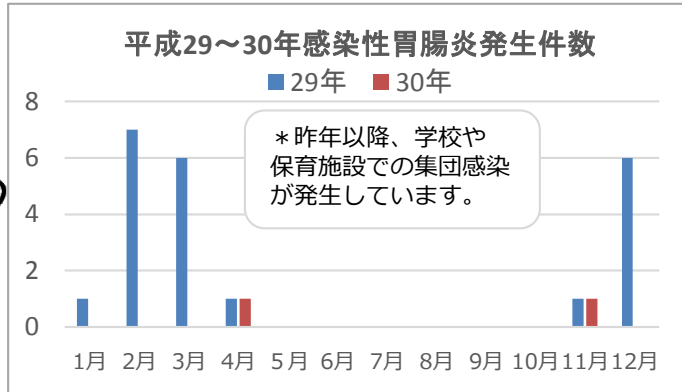
12月も半ば。日が落ちるのが早くなり、寒くなってきましたね。これからの季節はインフルエンザや感染性胃腸炎が増加してきます。今回はノロウイルスを中心に感染性胃腸炎のお話をします。

### ノロウイルスの特徴

ノロウイルスに汚染された食材や器材、吐物処理などで汚染した手を介して感染する。10～100個という少ないウイルス数で感染するほど**感染力が強い**。アルコール消毒は効果がないとされ、熱にも強い。  
**主な症状はおう吐、吐き気、下痢**  
**潜伏期間は平均1～2日**  
**感染経路は接触感染または糞口感染**



### 感染性胃腸炎の発生状況(釧路保健所管内)



### 検査・治療

検査は迅速キットで約30分で結果が出ますが陽性と出ない場合もあります。保険適応となるのは3歳以下、65歳以上、悪性腫瘍の患者等。それ以外は自費となります。ノロウイルスの治療は特効薬がないので廃棄や下痢に対する対症療法になります。脱水予防のため水分補給をしましょう。

### ノロウイルス感染対策Q&A

#### ノロウイルスの予防法は？

普段から手を良く洗いましょう。人の手がよく触れる場所は特にウイルスが付着している可能性が高いです。お家ではドアノブ、トイレ、テレビのリモコン、電話など。ノロウイルスはアルコール消毒が効かないので手を洗う習慣をつけましょう。



#### 仕事や学校はいつから行っていいですか？

下痢やおう吐などの症状が消失後48時間を経過するまでは自宅で療養する必要があります。感染者の便や吐物の中にはウイルスが含まれているため症状があるうちは感染拡大の危険があるので仕事や学校は休みましょう。食品関係の職場の方は特に注意が必要です。

#### 吐物が付着した服やリネンの処理法は？

吐物を飛び散らないように除去した後、塩素系消毒液(0.02%次亜塩素酸ナトリウム)に30～60分間浸すか、85℃で1分以上になるように熱湯消毒します。家庭では熱湯消毒は難しいのでその場合は塩素系消毒液(0.1%次亜塩素酸ナトリウム)で使用しましょう。塩素系消毒液は、色落ちしたり布が傷むことがあるので注意して下さい。他の洗濯物と分けて処理して下さい。また、塩素系消毒薬を使用する際は必ず換気をしましょう。カーペットなどが汚染した場合は、吐物を除去後、高温のスチームアイロンを2分間程度あてて熱処理して下さい。

#### 外来受診される方へのお願い

吐き気・おう吐・下痢等の胃腸炎症状のある方で当院に受診される方は総合案内にお申し出下さい。症状により隔離が必要となることがありますのでご協力よりしくお願い致します。



今回はノロウイルスのお話でした。どんどん寒くなります。風邪など引かないようご自愛ください。来年もニュース読んでくださいね!